

2015年8月25日

お客様各位

クローバー・アセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 多根幹雄

世界株式市場の下落について

中国の株式市場の動揺、その後の人民元切り下げの発表から、中国経済へ懸念が台頭。そして天津の化学工場での爆発、輸出入額の大幅な下落等々、政府発表の7%成長そのものにも不信感も生まれ、中国経済に対する警戒感が一気に高まりました。また、資源関連、特に銅や石油の価格の下落傾向が続き、朝鮮半島での国境での緊張悪化、日本の4-6月のGDPが年率換算でマイナス1.6パーセントと発表されるなどの悪材料が集中した結果、特に先週末以来、世界的な株式の下落が広がりました。

クローバーとしては、今回のような下落を組み入れファンドの評価の好機と捉え、その精査を行ってみました。当面入手した情報は以下の通りです。TMA、ひふみ、さわかみについては、今回の下落に対し、10から15%を超えるキャッシュポジションを事前に確保することで対応。また、ザ2020ビジョンは、下落時に割高の食品関連から、割安になった機械関連にシフトすることで、今後の回復時への対応をしております。コムジェストは、「短期的な市場の動きには対応しない」という確固たる姿勢で、特にエマージングファンドに大口の資金流入があり、積極的なアクションをとっているとのこと。また、その他ほとんどのファンドにおいても、今回かなりの追加資金の投入が見られ、将来により大きい下落が起こった際にも、強みを発揮するものと期待しております。

中期的には不安定な相場が続くそうですが、今後ますますファンドの優劣が明確になるでしょうから、長期投資的には、良いファンドに追加投資する機会と考えております。すでにファンド仲間の皆様からもわれわれのファンドへの追加投資の申し込みを続々といただいております。ありがたいことです。

今後も長期投資の視点で、安心して運用を任せいただけるファンドを目指してまいります。よろしく願いいたします。

◆ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

◆ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

◆当資料のご利用にあたっての注意事項

当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。

■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

クローバー・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2727号
一般社団法人 投資信託協会会員